

Gakugei
Album
2021
Autumn



師範学校の歴史をふり返る
學藝アルバム



●写真上：東京府青山師範学校の授業風景(化学)「卒業記念写真帖」(1934年)
●写真下：東京府女子師範学校の授業風景(割烹)「賀陽宮殿下台臨記念写真帳帖」(1933年)

師範学校における学びと生活

【会期】2021年10月15日(金)～12月24日(金)

【特別展示】11月15日(月)～11月19日(金)

【時間】[平日] 10:00～16:00

【場所】東京学芸大学附属図書館3階 大学史資料室

【問合せ先】東京学芸大学大学史資料室 [電話]042-329-7277

[メールアドレス] shiryou@u-gakugei.ac.jp



大学史資料室常設展の開催にあたって

大学史資料室は、附属図書館の増築完成に伴い、図書館3階に事務室と閲覧室を開設しました。これを機に、本資料室では、毎年実施してきた展示会に代えて、新たな常設展示を行っていきます。私たち東京学芸大学大学史資料室は、来年でちょうど設立10周年を迎えますが、この節目の年を目前に、大学史資料室の機能をよりいっそう高め、新しい地平を切り拓くにふさわしい常設展を創り上げていきたいと考えております。

本大学史資料室は、本学の運営及び教育研究等に関する重要な資料、また本学の歴史に関する重要な資料をそれぞれ調査・収集し、その資料の整理、保存及び公開を行うことを任務として出発しました。これは、わが国の教員養成の中核をなしてきた本学の位置を鑑みれば、明治期以来の日本の教員養成の歩んできた歴史の資料を調査・収集し、それを保存・公開していくことに重なります。その意味で、常設展の実現は、整理・保存してきた資料を継続的かつ安定的に公開する機会を用意できたものであり、その意義は大変大きいといえます。

この新たな常設展は、年間テーマを設定し、1年間を4～6月、7～9月、10～12月の三期に分けて展示内容を換えていきます。そしてこれを2年サイクルで回し、1年目のテーマは「師範学校の歴史をふり返る」、2年目は「東京学芸大学のあゆみ」とし、戦前から戦後の本学と教員養成の歴史を辿ります。

今年度は10月15日から展示を開始し、今期のタイトルは「師範学校における学びと生活」です。この展示では、師範学校時代において、どのような学び・教育が行われ、師範学校に集う生徒たちはどのような生活を送っていたのかを、大学史資料室に所蔵されている当時の授業風景や課外活動、寄宿舍生活についての資料を用いて紐解いていきます。展示資料は、師範学校の授業や生活の様子がわかる『学級日誌』や、生徒たちの手による修学旅行の旅行記、授業や教育実習、寄宿舍での生活の様子を捉えた写真など、多岐に亘ります。

奇しくも再来年の2023年に東京学芸大学は、1873年に東京府小学教則講習所として設立されてから150年目の「創基150周年」を迎えます。

新型コロナウイルス感染症の影響がまだ予断を許さない状況ではありますが、私たちは小さくとも確実な歩みを止めることなく、一步一步未来に向けて歩んでいきます。この世界的な危機が乗り越えられたとき、常設展に映し出される東京学芸大学とそこで学ぶ学生の歩みが大きく花開くことを願っています。

Gakugei
Album
2021
Autumn

師範学校の歴史をふり返る
学藝アルバム



2021年10月15日

東京学芸大学大学史資料室長
副学長・附属図書館長

川手 圭一

東京学芸大学大学史資料室常設展示